

2023年7月

利用団体各位

関西学院千刈キャンブ

食物アレルギーのある方へのお知らせとお願い
(関西学院千刈キャンブにおける食事提供ガイドライン)

この度は当施設をご予約いただきありがとうございます。

食物アレルギーがある方が当施設の食堂をご利用希望の場合、下記実施ガイドラインに基づいて対応いたします。ご利用の皆様へ安全な食事をご提供するためご理解とご協力をお願いいたします。

1. 基本的な考え方

食物アレルギーのある方が安全で健康に滞在できるよう、利用団体および家庭と協力し、給食等における摂取禁止食材の除去による食事の準備を行います。千刈キャンブでの提供食事（食材を含む）が原因となるアレルギー症状を発症させないよう下記実施ガイドラインに基づき、利用者の安全面に十分配慮し、当施設の物理的な許容範囲等もふまえた対応を行います。

しかしながら、アレルギー症状を起こす原因となる物質は、使用食材の製造工場、厨房における調理の過程で器具・機材に付着したり、手を介して付着するなど、様々な混入が考えられます。また、アレルギー物質に対する感受性は個人によって差がありますので、ご心配な場合は担当医とご相談のうえ、利用者ご自身で判断しご利用いただきますようお願い申し上げます。

2. 実施ガイドライン

- (1) 食物によるアナフィラキシー等で重症になった経験のある方には、アレルゲンの種類に関わりなく、食事提供はできません。原則、お食事の持ち込みをお願いしております。
- (2) 事前に利用団体より提出された所定書式（別紙参照）の情報に基づき、食物アレルギーをお持ちの方への対応を実施するものとします。具体的には除去食対応（原因食材を取り除いたうえで提供する）を基本とし、厨房設備や利用者の個別状況を総合的に判断し、現状で行うことのできる最良の対応を関西学院千刈キャンブが決定します。基本的な考え方は以下の通り。
 - (ア) 食材自体の除去対応（品数・ボリューム等が変わることがあります）
 - (イ) 加工食品の原材料成分の案内や食材成分の除去などの対応はできません。
 - (ウ) お伺いしたアレルギーの状況により、当施設での対応が無理と判断する場合があります。また、ご利用の方自身で食品の持ち込みをお願いする場合があります。（食品の保管・温め等については事務室へお問い合わせください）
- (3) 専用トレイを使用することとし、配膳時の間違いがないように配慮する。
- (4) 食物アレルギーがある方への除去対応食は、食器に盛り付け、食品包装用フィルム等の覆いを施したうえで、氏名を明記し、厨房カウンターにて提供する。

- (5) 配膳時には、団体責任者もしくは引率者と本人が除去対応食であることを確認する。
- (6) 本人が、食事開始時に除去対応食が盛り付けられた食器の食品包装用フィルム等はずす。
- (7) 食物アレルギー対応に係る食費の追加徴収はしない。

3. 事前提出書類等の手続きについて

利用団体の代表者は、利用申込書・プログラム計画書と共に「除去食依頼票」に記入（必要な人数分、各 1 枚）し、団体でとりまとめの上、ご利用初日の 1 5 日前までに関西学院千刈キャンプ事務室までご提出ください（郵送・ファクス・メール添付での提出可）。1 5 日前までにご連絡いただけない場合は、準備の都合上、対応できかねますのでご注意ください。

4. 利用申込から利用初日までの対応策実施の流れ

別紙「食物アレルギーの児童生徒に対する関西学院千刈キャンプの対応について」に従う。

5. 利用団体をお願いしたい食物アレルギー対応の体制

- (1) 利用団体ごとに、対応方法について全引率者への周知等を行う。
- (2) 全引率者が食物アレルギーの方に関する情報を共有し、適切な行動をとれるようにする。
- (3) 緊急時に速やかに対応できるよう、利用団体が持参薬・かかりつけ医・緊急連絡先等を把握しておく。
- (4) 関西学院千刈キャンプでは車両搬送を行いません。必要に応じて、各利用団体で車両を用意してください。
- (5) 利用団体と関西学院千刈キャンプが綿密な連携を図り、相互確認を行う。

6. 緊急時の対応

関西学院千刈キャンプでは車両搬送を行いません。各利用団体で車両をご用意ください。緊急時は千刈キャンプ事務所より三田市消防署へ電話連絡し救急車出動を要請します。少なくとも電話要請から救急車到着まで約 10-15 分、その後市内の病院到着までは約 10-15 分かかります。

以上